

- 採取方法が悪いと検査できないことがあります。必ずはじめにこの説明書をよくお読みください。

綿棒による自己採取法

専用の滅菌された綿棒で膈内から細胞を採取していただきます。
この検査は、淋菌・クラミジア・トリコモナス・カンジダ・細胞性腺症・マイコプラズマ・ウレアプラズマを調べるもので、子宮頸がんやHPV感染を目的していません。

採取する時の注意事項



1.手をよく洗いましょう。



2.採取前に入浴不可



3.採取前の性交不可



4.妊娠中は不可

- ※生理中の方は生理終了後、約1週間経過してから採取してください。
※採取前に膈内の洗浄をしまうと正しい結果が得られません。

自己採取の手順

- 1.水色の保存液が入った容器に採取日・年齢・名前を書いてください。
- 2.容器のキャップを開け、倒れないようにしておきましょう。
- 3.滅菌綿棒を取り出します。
綿の部分は手で触れないで、膈内に挿入します。
- 4.膈内を軽くこするよう細胞を採取します。
- 5.膈内から綿棒を引き抜き、素早く水色の保存液に綿棒を浸してください。



- 6.白いキャップを時計回りとは逆に回すと、カチッと溝に入りますので、それを確認してから時計回りにしっかり閉めてください。
(液が漏れないようしっかり閉めてください)
- 7.もとのジッパー付きビニール袋に入れ、余分な空気を抜いてください。
- 8.「依頼書・報告書」に必要事項を記入し、検体と一緒に返信用封筒に入れて投函してください。

